

「第3次臼杵市男女共同参画基本計画(案)」に対する意見と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
1	今の時代に『男女共同参画』は、無駄な取り組みだと思っております。 世相にも時代にも目を向けられておられないと感じます。 男女の違いで人権が侵害されている等、市民からの声があるのですか？ 必要の無い予算や人員、それに明るい方の講習があるのでしたらその費用。 其れ等全て必要の無いところに、無駄な予算や労力を使われるのは止めて頂きたいと思っております。 もっと市内を見渡して頂ければ、取り組む必要な事がお解りになるはずで。 例えば、ご高齢者の移動にタクシーを使わなければならない、少ない年金からの出費が嵩み、困窮する暮らしの中大きな負担になっておられる。 おぎなりのアジェンダにダラダラと取り組むのではなく、市内で問題になっている、取り組むべき事にご尽力頂きたいです。 予算も人員も時間も、必要な事に充てるべきだと強く思います。 市民の暮らしが安心安全で、より豊かにする為に叡智を使って頂きたいです。	男女共同参画社会の形成について、男女共同参画基本法により、地方公共団体もその促進のために施策を実施する責務が定められています。また、市民意識調査結果においても、社会や生活の中で性別による不平等感を感じている方が多くいることがわかっています。また、DV等の暴力についても、男女の経済的格差など、個人の問題として片付けられないような社会構造的問題も大きく関係しており、男女が社会の対等なパートナーとして様々な分野で活躍するためにこの取組も必要と考えます。他の問題についての取り組みもすすめて、この問題についても啓発等をすすめ、理解を深めていただけるよう努めます。
2	P19の男女共同参画に関する用語の認知度に関する調査結果についてですが、「男女共同参画社会」という用語を聞いたことはあるが内容は知らない、と答えた人が45.9%もいることにまず驚きました。 基本計画案に対する意見を募集しても、男女共同参画社会という用語の内容を知らない人が約46%もいることがまず問題ではないでしょうか。なぜこの基本計画が必要であるかを知ってもらうためにも、もっと事業所等地域において地道に広報をしていく必要があると思う。 講演会に参加する人達はある程度興味があったり動員であったりするので、そうでない人達に対する広報に工夫が必要だと思う。また、P21の調査結果で、「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人がかなり増えてきているものの、まだまだ割合が低いと感じるので、学校での教育にもっと力を入れていただきたい。	広報活動や教育は重要であると考えております。いただいたご意見を参考に、様々な方々に届くような効果的な方法を研究し、取り組みをすすめてまいります。
3	・これからはDVの加害者に対する支援方策も考える必要があると思います。 ・DVは同性カップル間のDVも含まれています。 ・最近SOGI(ソジ)のことも知っている人がいると思いますので、記載できればと思います。 ※細部にわたりすばらしい内容です。多くの人に知ってもらうアピールがこれからたいへんです。 ※大きな目標ができたので、これをより具体的に努力が必要です。1年毎の目標や重点目標をどうするかなど。担当部所の意識改革など。	・加害者に対する更正プログラムなどの支援については、大分県等の動きを注視しながら対応を検討してまいります。 ・DVは男女間だけでなく同性カップル間でも起こります。いただいたご意見を参考に、同性カップル間のDVについて、第6章の「DV(ドメスティック・バイオレンス)とは」という部分に追加いたします。 ・SOGI(性的指向・性自認)についても関連するP54に追加いたします。 また、いただいたご意見につきましては、今後の施策を推進する上で参考とさせていただきます。